

**社会心理学会
新型コロナウイルス感染症対策とコロナ後の生活の定着
— モバイル利用のライフスタイル研究 —**

佐藤 仁（NTTドコモ モバイル社会研究所）

飽戸 弘（東京大学名誉教授）

2023年9月

（社会的背景）

2020年以降の新型コロナウイルス感染拡大によって、人々の生活スタイルが大きく変わりました。マスクの着用、キャッシュレスの利用など様々な感染症対策が日常生活の中に入ってきました。

また感染症対策だけでなく、コロナ禍ではオンラインを活用した様々な生活スタイルが登場しました。そしてコロナ禍において登場した様々な行動が、人々の日常生活に定着していきました。



（仮説）

様々な感染症対策とコロナ禍後の日常生活での新しいライフスタイルの定着の意識について、**あらゆる感染症対策を行っている人は、新しいライフスタイルが日常生活で定着していると認識しているのではないか**という仮説をもとに検討しました。

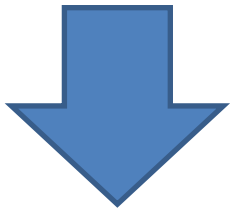
（参考：先行研究）

全国の都市における生活・行動の変化—R3年度 新型コロナ感染症の影響下における生活行動調査概要—
（国土交通省都市局都市計画課都市調査室）（令和4年3月実施）

調査方法	Web
調査対象	全国・15～79歳男女
有効回答数	6151
サンプリング	QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5歳刻み） ・都道府県のセグメントで日本の人口分布に比例して割付。
調査時期	2023年2月*

（*）調査時期2023年2月の新型コロナウイルス感染症の位置づけは「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」でした。
2023年5月8日から「5類感染症」に変更されました。
なお、マスクの着用は2023年3月13日以降は原則として、個人の判断にゆだねられることになりました。

各ユーザーの感染症対策に関する質問と、コロナ禍後での生活の定着に関する質問の設問を用いて因子（主因子法）・クラスタ分析（k-means法）で分析。



析出されたクラスタについて、各クラスタの所属サンプルの特徴について、感染症対策とコロナ禍後の生活での定着に着目した分析を実施。

(質問) **感染症対策のために、「普段行っている行動」**について、あてはまるものを全てお知らせください。(複数回答)

- | |
|-------------------------|
| (1) 人が集まる場所でのマスクの着用 |
| (2) マスクを着用していない人に近づかない |
| (3) こまめな手洗い・殺菌 |
| (4) 3密の回避 |
| (5) 接触確認アプリのインストール |
| (6) キャッシュレス決済の利用 |
| (7) PCの除菌 |
| (8) スマホ、タブレットの除菌 |
| (9) デリバリー・テイクアウトサービスの利用 |
| (10) 食料品や日用品のまとめ買い |
| (11) ネットバンキングの利用 |
| (12) 特に何も行っていない |

（質問） 新型コロナウイルス感染拡大前と比較して、以下はあなたの生活で定着した**と思いますか。（横シングル回答）**

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない （利用していない）
(1) オンライン飲み会の活用	1	2	3	4	5
(2) オンライン体験ツアー（国内・海外旅行、イベント、動物園、博物館など）	1	2	3	4	5
(3) オンライン学習の活用	1	2	3	4	5
(4) テレワークの活用	1	2	3	4	5
(5) 病院のオンライン予約、オンライン診療の活用	1	2	3	4	5
(6) デリバリーの活用	1	2	3	4	5
(7) 外出時のマスク着用	1	2	3	4	5
(8) キャッシュレス決済の活用	1	2	3	4	5
(9) ネットショッピングの活用	1	2	3	4	5
(10) 人込みの回避、ソーシャルディスタンスの確保	1	2	3	4	5

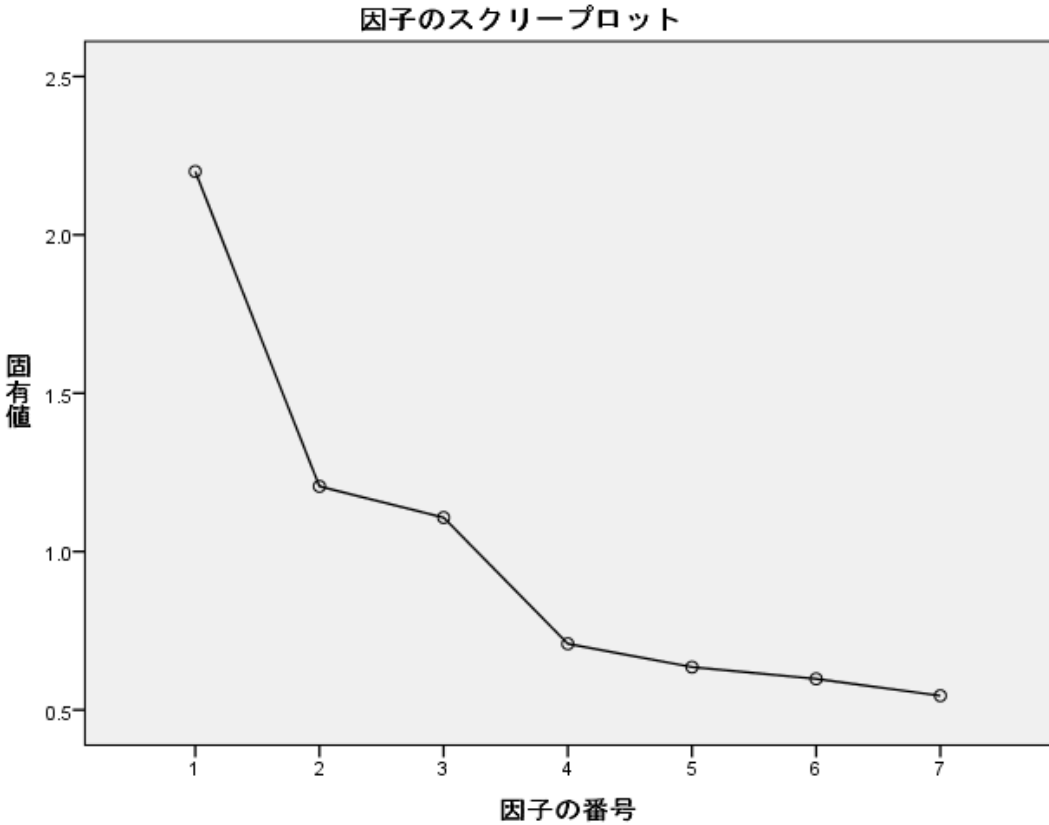
感染症対策のクラスタ

日頃行っている感染症対策で因子分析を実施 3つの因子（三密回避・除菌・キャッシュレス）を抽出

	三密回避	除菌	キャッシュレス
(1) 人が集まる場所でのマスクの着用	0.631	0.010	0.144
(2) こまめな手洗い・殺菌	0.615	0.133	0.057
(3) 3密の回避	0.470	0.163	0.116
(4) PCの除菌	0.072	0.631	0.099
(5) スマホ、タブレットの除菌	0.166	0.626	0.121
(6) キャッシュレス決済の利用	0.209	0.103	0.598
(7) ネットバンキングの利用	0.053	0.107	0.580

因子	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和			回転後の負荷量平方和		
	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %
1	2.200	31.427	31.427	1.586	22.652	22.652	1.077	15.389	15.389
2	1.206	17.227	48.654	0.610	8.720	31.372	0.856	12.228	27.617
3	1.107	15.818	64.472	0.493	7.040	38.411	0.756	10.794	38.411
4	0.709	10.125	74.598						
5	0.635	9.075	83.672						
6	0.598	8.543	92.216						
7	0.545	7.784	100.000						

因子抽出法: 主因子法



感染症対策で3つの因子（三密回避因子・除菌因子・キャッシュレス因子）を抽出し、大規模クラスタ分析を実施し3つのクラスタを抽出。

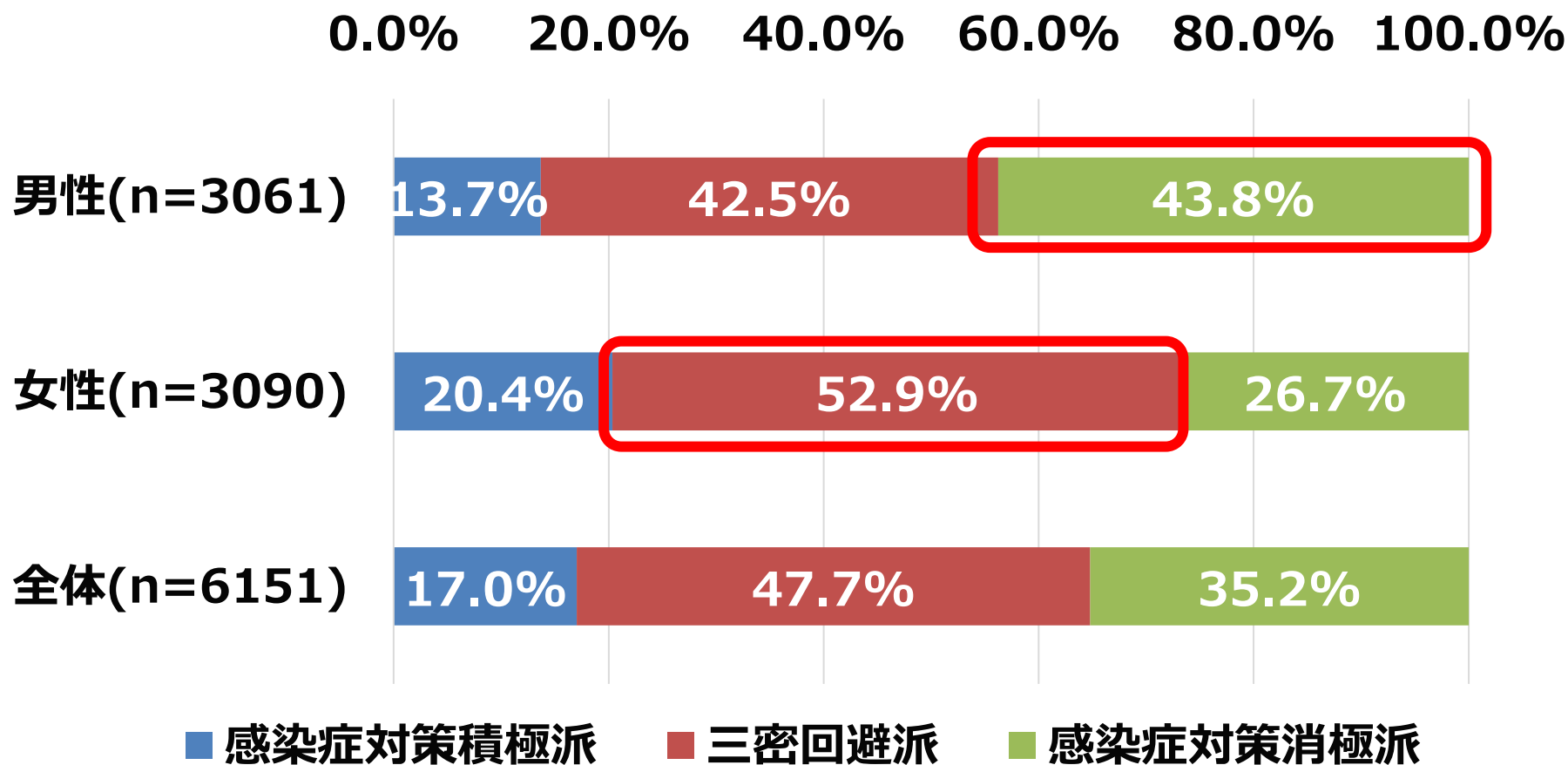
	クラスタ		
	(1) 感染症対策積極派	(2) 三密回避派	(3) 感染症対策消極派
三密回避因子	0.45488	0.51123	-0.91329
除菌因子	1.44629	-0.35816	-0.21412
キャッシュレス因子	0.30225	0.01620	-0.16821

クラスタ	(1) 感染症対策積極派	1048 (17.0%)
	(2) 三密回避派	2937(47.7%)
	(3) 感染症対策消極派	2166(35.2%)
有効数		6151(100%)

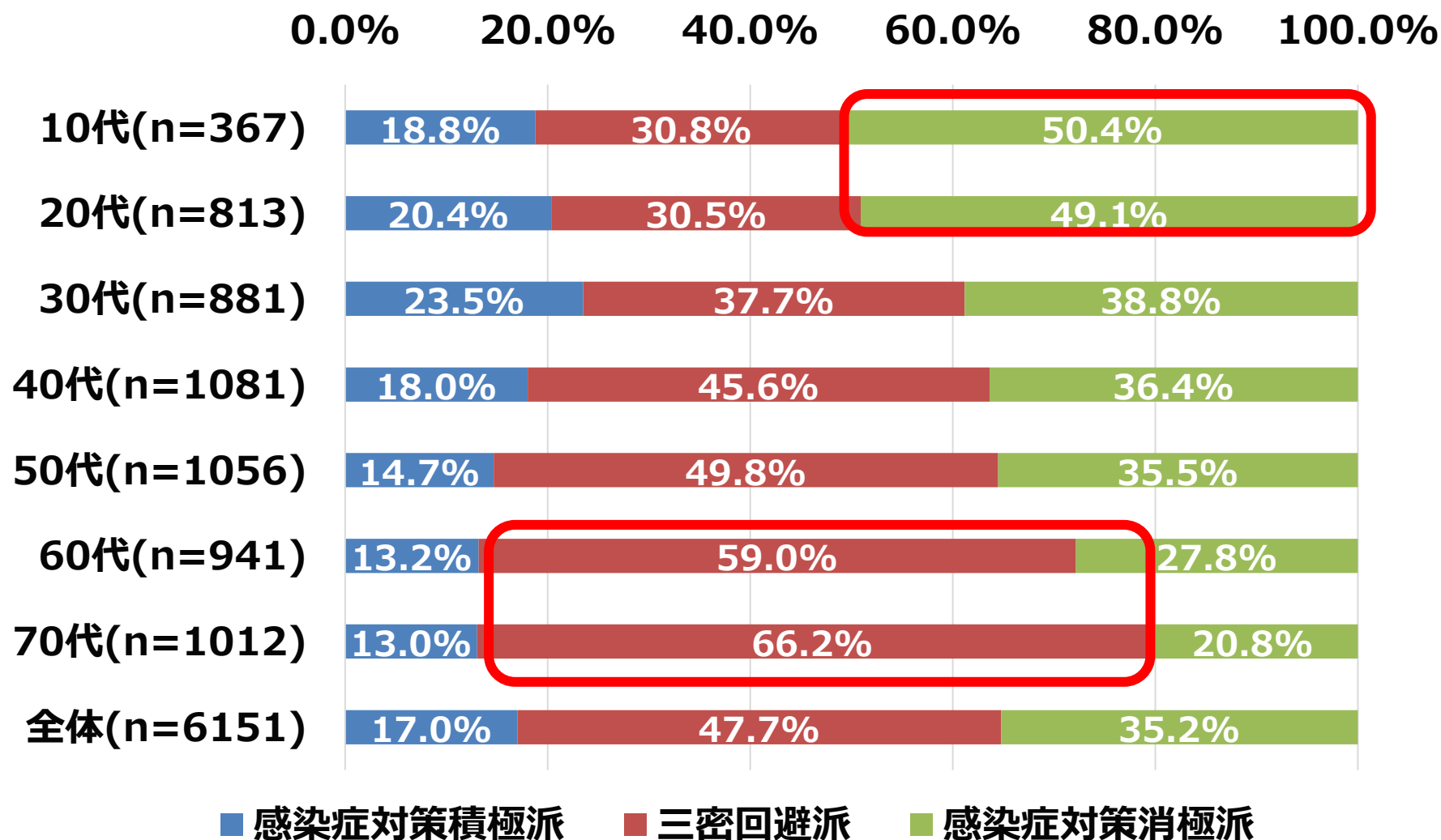
クラスタ名は下記の通り

- ①**感染症対策積極派**：積極的に感染症対策を実施する
- ②**三密回避派**：三密回避、マスク着用などを実施する
- ③**感染症対策消極派**：感染症対策に対して消極的

- ・男性は「**感染症対策消極派**」が4割超え
- ・女性は「**三密回避派**」が5割超え



- ・10～20代の若年層は「**感染症対策消極派**」が約半数
- ・60～70代のシニア層は「**三密回避派**」が約6～7割



コロナ後の生活の定着のクラスタ

コロナ禍後の生活での定着で因子分析を実施

3つの因子（オンライン生活定着因子・買い物定着因子・三密回避定着因子）を抽出

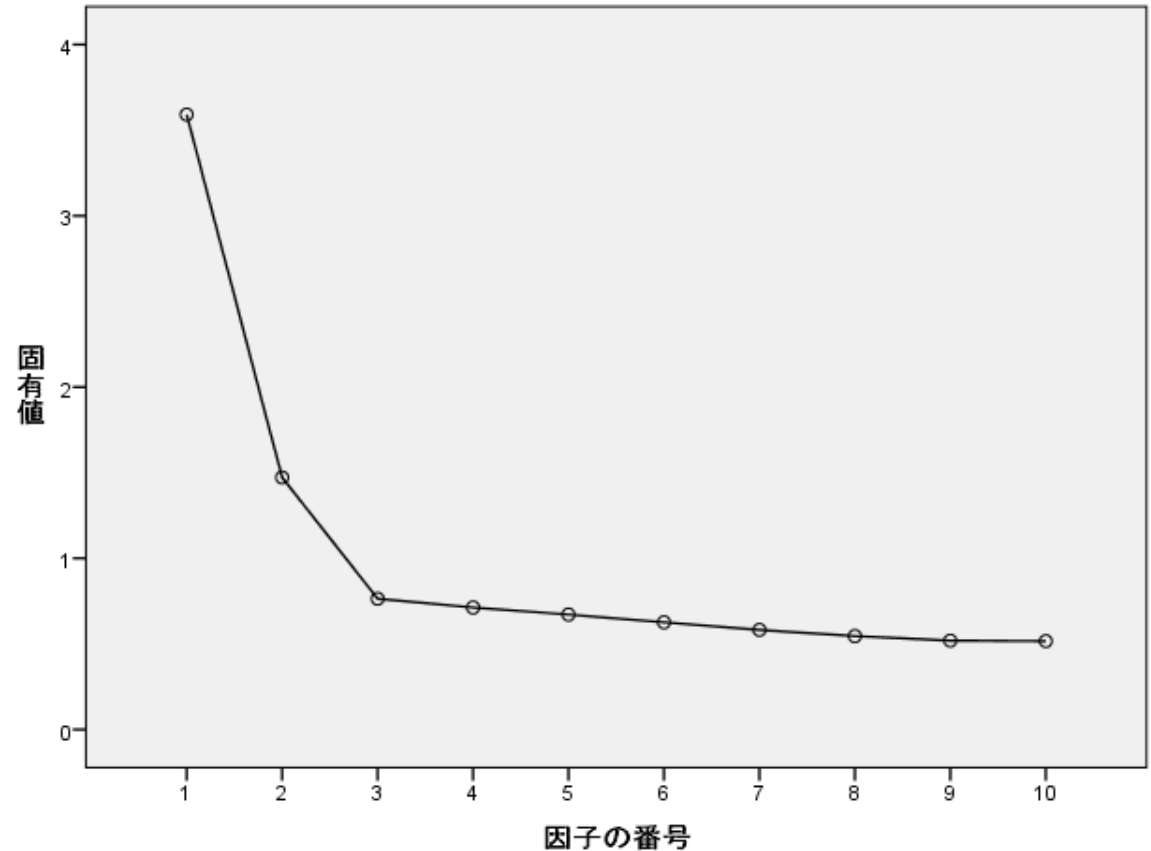
	オンライン生活定着因子	買い物定着因子	三密回避因子
オンライン体験ツアー（国内・海外旅行、イベント、動物園、博物館など）	0.640	0.022	-0.055
オンライン飲み会の活用	0.606	0.080	0.072
オンライン学習の活用	0.559	0.261	0.213
病院のオンライン予約、オンライン診療の活用	0.515	0.202	0.094
テレワークの活用	0.513	0.226	0.247
デリバリーの活用	0.480	0.334	0.174
キャッシュレス決済の活用	0.162	0.604	0.296
ネットショッピングの活用	0.203	0.587	0.260
外出時のマスク着用	-0.003	0.268	0.729
人込みの回避、ソーシャルディスタンスの確保	0.242	0.257	0.475

説明された分散の合計

因子	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和			回転後の負荷量平方和		
	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %
1	3.591	35.915	35.915	3.003	30.030	30.030	1.974	19.740	19.740
2	1.472	14.719	50.634	0.936	9.361	39.392	1.126	11.260	31.000
3	0.764	7.639	58.273	0.227	2.272	41.663	1.066	10.663	41.663
4	0.713	7.126	65.398						
5	0.671	6.715	72.113						
6	0.626	6.260	78.374						
7	0.582	5.816	84.190						
8	0.546	5.456	89.646						
9	0.519	5.192	94.838						
10	0.516	5.162	100.000						

因子抽出法: 主因子法

因子のスクリープロット



生活での定着で3つの因子（オンライン定着因子・三密回避定着因子・買い物定着因子）を抽出し、大規模クラスタ分析を実施し4つのクラスタを抽出。

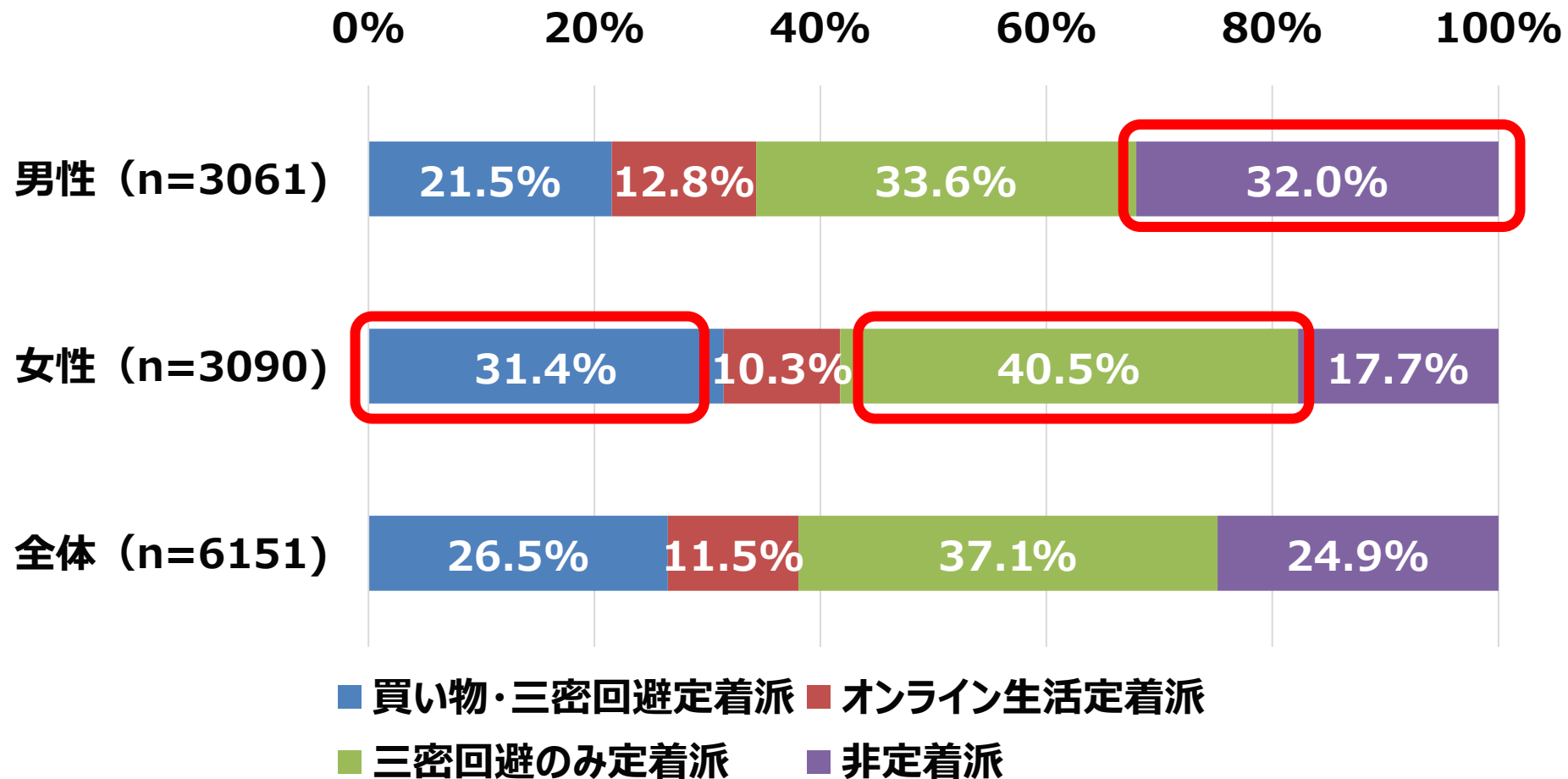
	クラスタ			
	買い物・三密回避定着派	オンライン生活定着派	三密回避のみ定着派	非定着派
オンライン生活定着因子	-0.12817	1.55511	-0.30040	-0.13714
買い物定着因子	0.75702	0.31100	-0.29088	-0.51730
三密回避定着因子	0.39282	0.05248	0.37379	-1.00102

クラスタ	(1)買い物・三密回避定着派	1630 (26.5%)
	(2)オンライン生活定着派	710 (11.5%)
	(3)三密回避のみ定着派	2282 (37.1%)
	(4)非定着派	1529 (24.9%)
有効数		6151 (100%)

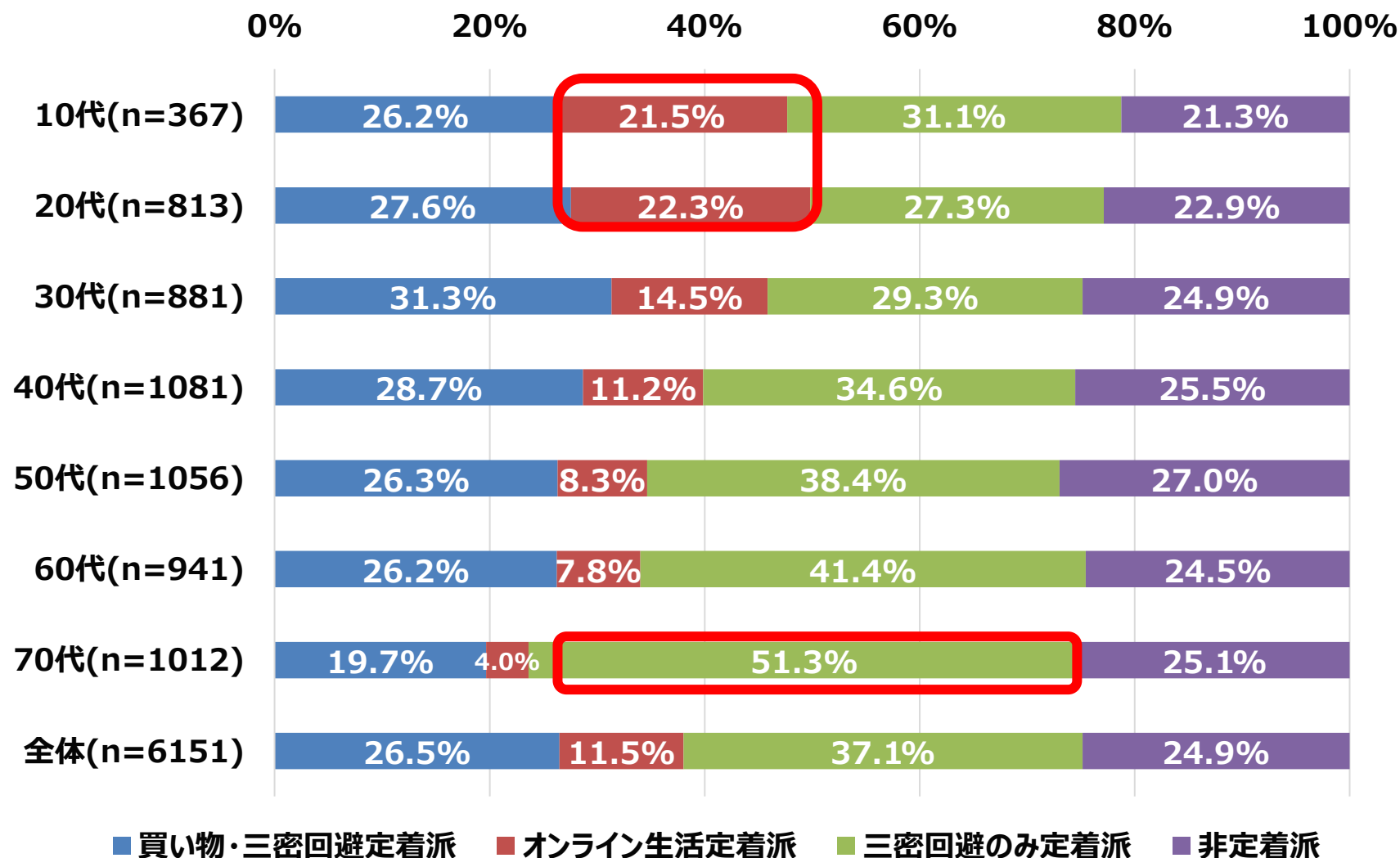
クラスタ名は下記の通り

- ① **買い物・三密回避定着派**：買い物（キャッシュレス・ネットショッピング）と三密回避行動が定着
- ② **オンライン生活定着派**：オンラインでの活動が定着
- ③ **三密回避のみ定着派**：マスク着用、ソーシャルディスタンス等三密回避行動のみが定着
- ④ **非定着派**：コロナ禍後での生活に新しい生活様式が定着していない

- ・男性は「**非定着派**」が約3割
- ・女性は「**三密回避のみ定着派**」が約4割
- ・女性は「**買い物・三密回避定着派**」が約3割



- ・10～20代は「**オンライン生活定着派**」が約2割
- ・70代は「**三密回避のみ定着派**」が約5割



感染症対策クラスタと コロナ後の生活の定着クラスタ

感染症対策・コロナ後の生活定着を分析

感染症対策 3 クラス

- ① 感染症対策積極派
- ② 三密回避派
- ③ 感染症対策消極派

コロナ後の生活の定着 4 クラス

- ① 買い物・三密回避定着派
- ② オンライン生活定着派
- ③ 三密回避のみ定着派
- ④ 非定着派

	①買い物・三密回避定着派	②オンライン生活定着派	③三密回避のみ定着派	④非定着派
①感染症対策積極派	36.5% ^{**}	17.8% ^{**}	31.9% ^{**}	13.8% ^{**}
②三密回避派	29.9% ^{**}	9.3% ^{**}	43.3% ^{**}	17.6% ^{**}
③感染症対策消極派	17.1% ^{**}	11.6%	31.2% ^{**}	40.1% ^{**}
全体	26.5%	11.5%	37.1%	24.9%

以下のような結果が導き出されました。

(仮説)

あらゆる感染症対策を行っている人は、新しいライフスタイルが日常生活で定着していると認識しているのではないか。



(まとめ)

1. 「**感染症対策積極派**」の人は、「**買い物・三密回避定着派**」と「**オンライン生活定着派**」が相対的に多い。
2. 感染症対策で「**三密回避派**」の人は、「**三密回避のみ定着派**」が相対的に多い。
3. 「**感染症対策消極派**」の人は、「**非定着派**」が相対的に多い。